

## 貸借対照表からわかること

平成16年度の貸借対照表を、普通会計と連結で比較しました。

### 【普通会計】

塩 竈 市	
資産 666億円	負債 239億円
	正味資産 427億円

市民1人当り  
で見ると

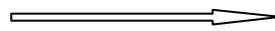


市民1人当り	
資産 110万円	負債 39万円
	正味資産 71万円

### 【連 結】

塩 竈 市	
資産 830億円	負債 379億円
	正味資産 451億円

市民1人当り  
で見ると



市民1人当り	
資産 138万円	負債 63万円
	正味資産 75万円

(H17.3.31現在 60,316人で算出)

①資産総額は、830億円（市民1人当り138万円）

有形固定資産は約747億円で資産の90.0%を占めています。大きなものでは、水道事業で約103億円が普通会計の貸借対照表に加わっていることとなります。

②負債総額は、379億円（市民1人当り63万円）

固定負債の「地方債」と流動負債の「翌年度償還予定額」をあわせた地方債総額は約315億円で、負債の83.0%を占めています。

③正味財産総額は、451億円（市民1人当り75万円）

一般財源・剰余金等は300億円で正味資産の66.7%を占めていますが、病院の累積赤字もあり普通会計と比較しても大きく増えていない状況にあります。

## コスト計算書からわかること

平成16年度の行政コスト計算書を、普通会計と連結で比較しました。

### 【普通会計】

塩 竈 市	
費用の部	167億円
収入の部	164億円
当期純剰余金	△3億円

市民1人当り  
で見ると

市民1人当り	
費用の部	27.7万円
収入の部	27.2万円
当期純剰余金	△0.5万円



### 【連 結】

塩 竈 市	
費用の部	211億円
収入の部	205億円
当期純剰余金	△6億円

市民1人当り  
で見ると

市民1人当り	
費用の部	34.9万円
収入の部	33.9万円
当期純剰余金	△1.0万円



#### ①費用の部

普通会計に比べ、1.26倍となっています。主な内容は、企業会計との経費の相殺消去により補助費等が約2億円減少しましたが、人件費で約20億円、物件費で約17億円増加しています。

#### ②収入の部

普通会計に比べ、1.25倍となっています。主な内容は、病院等事業収益で約21億円、水道事業使用料収入で約19億円増加しています。

#### ③当期純剰余金

連結行政コスト計算書では、約6億円の純損失となっています。これは、水道事業会計においては純利益を確保したものの、普通会計及び病院事業会計、土地開発公社において純損失が生じたことによるものです。

#### ④当期末一般財源等

普通会計に比べ、44億円減少し233億円となっています。これは、病院事業会計における当該年度未処理欠損金46億円が主な要因です。